

令和4年度第2回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

1 日 時

令和5年3月2日（木）10時から11時まで

2 場 所

稲毛保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者

- (1) 委 員 荒川利重委員、井出孝子委員、伊藤正樹委員、岩上章子委員、岡山尚美委員、神田勇委員、菊池まり委員、木村ユミ子委員、工藤和博委員、工藤嘉生委員、佐久間文子委員、鈴木金作委員、関谷輝市委員、内藤八洲夫委員、深味肇委員、古沢幸子委員、星野正子委員、眞智洋二委員、松川智子委員、松原正道委員、森松助委員、吉岡加代子委員

※25名中 22名が出席

4 会議の概要

- (1) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しにおける具体的な取組み及び活動事例について

中間見直しにおける具体的な取組み及び活動事例について、委員の方々からの前回の会議当日における意見、会議後に書面における意見に対して、「資料1 稲毛区支え合いのまち推進計画中間見直し（案）に対するご意見」のとおり事務局から説明するとともに、この意見等を踏まえ修正を加えた「資料2 稲毛区支え合いのまち推進計画中間見直し（案）」で「具体的な取組み」及び「活動事例」の案を提案し、全会一致で承認された。

- (2) 第5期区支え合いのまち推進計画の中間見直しにおける重点取組項目について

中間見直しにおける重点取組項目について、「資料3 稲毛区支え合いのまち推進計画中間見直しにおける重点取組項目について」で事務局から説明を行った。

- (3) その他

災害時における障害者の避難所対応について、次のような意見があった。

- ・松川委員→資料1の11番の事務局回答に避難所運営委員会と事前相談とあるが、それはどのように行うのか、避難行動要支援者名簿は各避難所運営委員会も把握しているのかを教えてください。
- ・鈴木委員長→避難所運営委員会は、各自治会も参加しているので、その中で意見が出れば対応ができる。避難行動要支援者名簿については、それぞれの自治会が必要とすれば持っている。そのため、各地区の避難所運営委員会に相談してほしい。災害時には共助が必要であるため、各地区でどのように対応するかを話し合ってもらいたい。

- ・古沢委員→避難行動要支援者名簿があまり活用されていないため、自治会役員、民生委員、障害をお持ちの方や家族等とも避難所運営委員会を開催したほうがいい。
- ・深味委員→避難所運営委員会のうち避難所運営ができるのは 20%程。1年ずつ役員の変更があるところも多い。
- ・眞智委員→私は、避難所運営委員会のうちこのような問題に対応できるのは3分の1程度と思っている。配慮の必要な方は個別に地域の避難所運営委員会に問題提起し、粘り強く話し合ってもらいたい。
- ・松川委員→障害を持つ人や家族が単独で相談することは難しい。避難行動要支援者名簿には、要支援者について事前把握した情報（車中泊や拠点福祉避難所対象など）を記載してほしい。